

## ボランティア活動報告 2017

### 大学間連携 夏の合同ボランティア学習会①

#### 敬愛大学（千葉）・聖学院大学（埼玉）

8月7日（日）、尚絅学院大学多目的ホールにて、千葉県の敬愛大学、埼玉県の聖学院大学との大学間連携夏のボランティア学習会が行なわれました。

プログラムでは、まず名取市閑上の日和山にて被災地の様子を見学しました。次に美田園北団地の様子を見学したのち大学へ移動し、閑上で被災された語り部さん、そして現在復興公営住宅に住んでいる方の講話を聞きました。グループワークでは、語り部さんの講話を参考にしながら『復興とは何か？』というテーマで、意見を出し合いました。

では、学生たちが考える復興について実際に出た意見を紹介します。

#### 学生が考える、私にとっての『復興』とは？

- ひとりひとりが出来ることをする。
  - 『支援』ではなく『支縁』
  - 震災と向き合う
  - 終わりのない寄り添い
  - 知ること
  - 忘れないこと
  - 元々あった生活を取り戻す。
  - 町に活気が戻ること
  - 住民さんの笑顔が戻ったとき
  - 安心、関係性
  - 爪痕が見えない『まちづくり』
- 被災地の方々が自分・自分の住んでいるところが、被災者・被災地だと思わなくなること。  
•ひとりひとりが助け、助けられを実感し、笑いあい、忘れられない涙も流すが、明日に希望を持って布団に入れること。

宮城と関東の学生が集い、ひとりひとり「復興」という言葉と向き合う有意義な時間を持つことができました。



最後はみんなで記念撮影！

文：人間心理学科4年 伊藤ちひろ  
(連携交流課 ワークスタディ学生)